

# 平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充    マスタープラン： 3つの挑戦 / 低炭素    施策番号： 5-1 ・ 5-3 ・ 4-1 ・

局・課名： 環境局・環境エネルギー課

事業名	スマートファクトリー・スマートオフィス導入支援事業	事業費(千円)	平成27年度決算額	平成28年度予算額	平成29年度要求額	
			0	0	30,040	
<b>【目的】</b> 2017年2月17日変更  市内の工場や事業所の省エネルギー化をさらに推進するため、トップレベルの省エネルギーを実現する先進的な取組に対し、その構成要素となる高効率な省エネ設備機器等を導入する費用の一部を支援する。また、2017年度には業務用FCが市場投入されることから、水素エネルギー社会の早期実現をめざし、業務用FCの導入支援を強化する。  <b>【内容】</b>  事業所の省エネルギー性の高いシステムや高性能設備機器等を導入する費用の一部を支援するとともに、電力需要を平準化する取組を推進する。 ○対象者： ・直近1年間のエネルギー使用量が原油換算で1,500kℓ未満の市内事業所 ○募集件数：15件程度(予算の範囲内で) ○補助額：①補助率1/3、上限額100万円 ②補助率1/3、上限額200万円 ※業務用FCを導入する場合には、補助率1/2とする。 ○補助要件： ①事業所全体の温室効果ガス削減量が2.5t以上、削減率が2.5%以上、またはデマンド値削減率が2.5%以上。 ②事業所全体の温室効果ガス削減量が5t以上、削減率が5%以上、またはデマンド値削減率が5%以上。  <b>【今年度要求のポイント】</b>  ・補助要件(削減量)の対象にピークデマンド値の削減を新たに追加する。 ・業務用FCを導入する場合には、補助率を1/3から1/2とする。 ・補助対象経費の下限額を50万円から30万円に引き下げる。 ・同年度において、1事業者1事業所までの申請としていたが、1事業者3事業所まで申請可能とする。	<b>債務負担行為</b>  期間 H ~ H  <b>主な要求内容</b> (単位:千円)					
			項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等
			通信運搬費	0	40	
			スマートファクトリー・スマートオフィス導入支援事業	0	30,000	200万円×15件
			合計	0	30,040	
	<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>					
			<b>【経過(～28年度)】</b> 省エネ設備等導入支援事業	<b>【29年度】</b> 4月中旬より募集。随時、交付決定等を実施。		<b>【今後予定(30年度～)】</b> ZEB化の実現をめざす取組を検討。
	<b>その他 特記事項</b>					
	関連事業：					